

□■ 07 花はどこへ行った ■□

～ 自然物の神経衰弱！?!？ ～

裏返したカードをオープンして、同じカード（花、実、虫、鳥）を集めます。カードの枚数が名前の文字数と同じで、枚数が多いカードを集めた方が高得点です。さあみんなで協力することで、あなたのグループは何組のカードを集められるでしょうか。



ブーさん

*対象…小学生以上
*人数…1チーム2～5程度
*時間…何分でも可
#神経衰弱#協力#自然物#カードゲーム

用意するもの

- 自然物（花、実、鳥、虫、ほ乳類、両性・は虫類等）の写真カード・・・各写真の種名の枚数を用意（例：「ハチ」なら2枚、「メジロ」なら3枚、「アサガオ」なら4枚）
- カードの表（写真をプリントしてある側の右上に枚数の数字、左下に種名のうちの1文字が印字してある）



進め方

※1 チーム2～5人で、チーム数は2～4チーム程度で対戦可能。

※2チーム（各3人組）の対抗戦で実施する例で説明する

- (1)（話し合っ）チーム内の順番を決める。
- (2)（例えばじゃんけんで）先攻後攻を決める。
- (3) 写真カードをよく切って、裏（写真の側が下）にして並べる。
- (4) ルールは神経衰弱と同じで、その写真の全枚数をオープンするとそのチームがカードを獲得できる。（例えば、「ハチ」なら2枚、「メジロ」なら3枚、「アサガオ」なら4枚）
- (5) 先行チームのトップバッターがカードをどれかオープンする（裏返して写真を見る）。
- (6) カードの右上に2とあった場合、次の順番の人がもう1枚別のカードをオ

オープンして同じものであれば、そのチームがカード2枚を獲得する。そしてまた3番目の人から始めて同じことを繰り返す。

- (7) (6)で2番目の人が違う写真のカードをオープンしてしまった場合、後攻チームに移って同じことを繰り返す。順番が回ってきた人(オープンする人)以外は、手は使わずに同じ種類のカードの位置を教えてもかまわない。
- (8) これを繰り返して、すべてのカードがオープンされたら終了(または時間制とする)。
- (9) 各チームは、取ったカードの写真を見てその種名を当てる。

○ 得点換算方法

X枚のカードを獲得・・・X点

さらに種名を当てたら・・・1点

例) ユリ(カードは2枚)とアサガオ(カードは4枚)の写真カードを獲得し、種名まで当てると

ユリ: $2+1=3$ 点

アサガオ: $4+1=5$ 点

計 8点

バリエーション

進め方の(7)で、低学年の場合等易しくしたい時は指さしOKにするとよい。

ふりかえり

- ・グループの他の人を助けることができましたか。
- ・他の人の順番でも集中して見ていることができましたか。
- ・グループで協力して進められましたか。

注意事項

ネット上の著作権フリーの写真を使うとよい。

